



2013-2014 年度
国際ロータリーのテーマ

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER

ガバナー月信 4月

2013-2014 Rotary International District 2760

- ガバナーメッセージ…①／雑誌月間に寄せて… ②／記念式典…④
- 米山奨学生歓送会・指導教員感謝の集い…⑥／ベトナム・キンチャウ村幼稚園改築引き渡し式…⑦
- 広報委員長会議報告…⑧／14-15 年度 地区チーム研修セミナー報告…⑩
- 文庫通信…⑩／14～15 年度 会長エレクト研修セミナー（PETS）報告…⑪
- IM 報告…⑫／平成25年度名古屋大学卒業・修了留学生を送る夕べ…⑮
- よもやま話…⑯／編集室だより…⑰／会員数及び出席報告…⑱

ガバナーメッセージ

雑誌月間

ガバナー 田中 正規

4月は雑誌月間に指定されています。各クラブはその月間中に雑誌に関するプログラムを実施することになっています。「ザ・ロータリアン (the Rotarian)」は RI の機関雑誌であり、同時に事業及び専門職務に携わる人々のための国際雑誌であります。ロータリー創立の6年後の1911年「The National Rotarian」(後のザ・ロータリアン誌)を創刊。チェスリー・ペリーを編集長に迎えました。第1号は1月に発刊されました。そこには、ポールハリスのエッセイがあり、よく知られた一節があります。「私が神の摂理により、大きなコロシウムに立ち、あらゆるロータリアンを前にして一言述べた機会に恵まれることになったとしたら、私は何のためらいも無くあらん限りの声で叫ぶでしょう。“寛容！ (Toleration)”と」。



ベトナム ティエンフォア市長より、地区国際奉仕活動で、当地区へ頂いた感謝状

「ロータリーの友」は RI 認定の日本における公式刊行物です。日本のすべてのクラブ会員は「ロータリーの友」を購読する義務があります。各クラブは会員人数分購読していただきたい。またすでに2014年1月からデジタル化 (Web 配信) しています。「ロータリーの友」のホームページから〈ロータリーの友電子版〉をクリックし ID とパスワードに【rotary】【rotary】とそれぞれに入力すると見ることが出来ます。RI の最新の情報を知ることが出来、国内のロータリークラブの活動状況やロータリアンの人物、趣味などが紹介されています。実際に会員の投稿やクラブ紹介を受け付けていますので、是非とも応募してください。

700 万年前人類はチンパンジーと分かれてその後2足歩行になり、脳の巨大化、手の発達、狩猟が出来、言葉を話す能力が出来ました。言語を含む人間のさまざまな能力は突然にあらわれたものと言われています。考古学上では5万年から10万年の周期で重要な想像力の爆発があるといわれ、人間の能力の突然の進展や向上が見られると言います。遺伝子の進化、言葉は第2の進化、ITは第3の進化になるか興味のあることです。これに乗り遅れると旧人類の仲間になるかもしれません。



地区広報委員会 委員長 尾本 和弘

「ロータリーの雑誌月間」にあたって

4月は「ロータリーの雑誌月間」です。世界中のロータリアンにとって不可欠な情報源であるロータリー雑誌の重要性を認識する特別月間です。

「ロータリーの友」もWeb配信が一部採用をされましたが、ほとんどのロータリアンにとって主たる情報源です。このため、ロータリーの雑誌月間は「ロータリアン誌」や「ガバナー月信」「週報」を見直すよい機会と言えましょう。

「ロータリーの友」について

ロータリーの雑誌には国際ロータリーの公式機関誌であるロータリアン誌(TheRotarian)と、RI理事会が承認した公式地域雑誌(ロータリーの友)があります。そして、「ロータリー・クラブの会員は、会員身分を保持する限りこのロータリー雑誌を有料で購読しなければならない」ことになっています。

「ロータリーの友」は2013年1月に創刊60周年を迎えた、日本のロータリアン10万有余人が購読義務を有する雑誌で、公式地域雑誌の中では最も発行部数の多い雑誌です。(2012年7月~2013年6月の発行部数は1,156,400部、1か月平均96,366部。1か月あたりの収入実績 購読料18,705,200円、広告料650,375円)

「ロータリーの友」の編集部は、読者にとってより価値の高い雑誌を目指し、情報発信をしております。

1. R.I会長メッセージ
2. 毎月の月間テーマを示す記事の欄
3. イベントなどのクラブや地区の活動を報道する欄
4. クラブ・ロータリアン投稿によるクラブ活動に欠かせない情報をロータリアンに提供するための欄

「ロータリーの友」の特集記事には常にロータリーの視点からのニュースが盛り込まれています。1月号・ロータリー理解推進月間に2760地区「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」のイベント記事が大きく取り上げられています。一度ご覧になってください。

「ガバナー月信」について

ロータリアンの皆様、田中正規ガバナー年度の月信をお読みに成っていますか?毎月のガバナーメッセージも読みどころですが、各委員会記事、イベント、クラブ会員数の増減などが書かれています。Webからの発信になったおかげで本箱から探さなくても今は簡単にパソコン・スマートホンから何時でも閲覧できます。

「ロータリーの友」「ガバナー月信」も発行されてすぐに読めば、新しい情報・話題を入手することが出来ます。「ロータリーの友」の記事は少なくとも2760地区の記事情報は読んでください。

ところで、地区ガバナーホームページからWeb発信されている「田中正規ガバナー月信」は年度終了後、地区ホームページのTOPから掲載がなくなります。移動先は「2760文庫」へ保管されます。「2760文庫」開設の経緯は過去に大島宏彦PDG年度から月信がWeb発信になり年度が替わると消滅をしていました。

当地区の貴重な資料が無くなる前に、3年前から資料収集を始め「2760文庫」を作りました。現在1949年60地区よりWeb閲覧が出来ます。月信収集で気が付いた点があります、月信=歴史書です。戦前のクラブを除けばクラブの発会式・チャーターナイトなどの貴重な資料が掲載をされています。一度、当地区のガバナーホームページ「ガバナーの歩み」をクリックして「2760文庫」を見てください。ロータリアンの皆様「ロータリーの友」「ガバナー月信」を読むことはロータリーを認知し、知識を高めます。最後に「2760文庫」にはクラブ記念史の製作に必要な月信が所蔵・閲覧が出来ますので、一度ご覧に成ってください。



「雑誌月間」に寄せて

ロータリーの友編集委員会 地区代表委員 宮崎 薫

4月はR.I.で毎年「雑誌月間」として定められています。

ロータリーの地域雑誌として「ロータリーの友」がありますが、これは、R.I.の認定を受けた日本におけるロータリーの機関誌です。そして、この月間には、「ロータリーの友」の購読を推進し、プロジェクトのアイデア、新会員の勧誘やロータリーへの情熱を喚起するためのリソースとして、どう利用するかを話し合う月間と云う事です。これらの機関誌は、R.I.の手続要覧にもある通り全てのロータリアンが購入し、読む義務を背負っています。

日本の「ロータリーの友」誌は1953年1月に創刊され昨年の1月に60周年を迎えました。そして昨年の規定審議会では、ロータリー地域雑誌が電子版でも読めるように規定が変更されたのに伴い、本年2014年から電子版の発行も出来るようになっていますが、未だ試験段階で取扱い等、詳細については確定しておりません。ついでながら「ロータリーの友」事務所は現在正式名を「一般社団法人ロータリーの友事務所」と言います。

そして、「友」誌の他に広報誌として「ロータリー — 世界と日本 —」や「ロータリー — あなたも新しい風に —」などがあり、ロータリーの活動をわかりやすく記載されていますので、一般の方々に配る広報誌として、又会員増強にも役立つものとして編集されていますので、活用して欲しいと思います。

さて、毎年の事ではありますが「ロータリーの友」誌の読書率の向上が大変重要な課題となっています。雑誌といっても一般の雑誌と異なって「マンガ」や「ゴシップ」を扱っていませんし、「歴史小説」等を掲載することもないので、「面白くない」とかの理由で読書率が低いということでは議論のスタンスが全く異なってしまいます。ロータリアン一人一人がロータリー活動の視点から見れば、様々な情報が詰まっており、この中から何を取り出し、何を考え、何を感じ取るかが問題でその視点でとらえれば、大変面白いと思うのです。更にロータリアンとしての経験談や意見、職業上の知識などを掲載しており、ロータリアン同士の議論や交流を図る場も提供していると言えます。

クラブの会長、幹事は勿論、各奉仕委員長は是非読んでいただきたいと思います。クラブの活動やこれから何をしようか、何をしたいのか判断出来ない時など、必ず何かヒントが得られると思います。

そして、自分達のクラブの「ロータリー活動」の情報を提供して発信する一方、他地区のクラブやその活動状況のみならず、世界のロータリアンの活動を知ることが出来ます。それによって「友」誌により興味を持っていただきたいと思います。

投稿原稿の採用の秘訣は

- ① 1ヶ月以内の活動報告であること
- ② 自身のクラブがどのような場所にあって何が特徴か等の紹介がある事
- ③ 活動内容を500字以内で紹介し5W・1Hの要領でまとめられている事
- ④ 写真の添付は活動状況を中心に（集合写真はダメ）

以上の事に注意して送っていただくと、かなり採用の可能性は高くなると思います。

ロータリアン自身もよりロータリーの事を知り、「ロータリーとは何ですか？」と質問を受けたら、すぐに答えられる人になりましょう。今何を重点的に取り組んでいるのか、その活動を紹介出来るようにしましょう。「～磨いて輝こう～」ロータリーを实践することで輝きをもたらすことが出来ます。



岡崎城南ロータリークラブ25周年記念式典

岡崎城南ロータリークラブ25周年実行委員長 近藤 正俊

去る3月4日(火) 岡崎ニューグランドホテルにて当クラブ創立25周年記念式典を開催した。梅村憲一西三河中分区ガバナー補佐はじめ多くのご来賓を迎え、また当クラブ設立年度から姉妹クラブとして友情を深めている会津若松城南RC、そして遠く北海道の地よりお越し頂いた友好クラブの余市RCのメンバー計23名の参加の下、盛会裏に記念式典・祝宴を終えることが出来ました。



式典時の全体写真

加えて当クラブの独自WCS活動として1999年より始めているミャンマー教育支援プログラムの現地協力者2名(ご夫婦)を今回初めてミャンマー・ザガイン管区シュエボから日本へ招待し、15年間に渡る当クラブ奉仕事業への協力に対し感謝の意を表した。



ミャンマー招待者より表彰の返礼で中根会長が記念品を受領。宝石で書かれているロータリーマークの絵

この記念式典では25周年記念事業として「教育支援」をコンセプトとして「4つの事業」の①ロータリー財団への寄付。②米山記念奨学会への寄付。③海外教育支援として、当クラブのミャンマー教育支援事業により過去にミャンマー各地に建設し地元へ寄付したKIBOH図書館5館のリニューアル費用(改装費)の寄付。④国内教育支援として、小学生に科学へ興味を持たせるため岡崎市内の理科教育に熱心な小学校を顕彰する岡崎城南RCサイエンス賞の創設、を発表した。この創立25周年を機にクラブの飛躍を誓い、クラブの成長と地区発展の為に一層精励する所存であります。

この創立25周年を機にクラブの飛躍を誓い、クラブの成長と地区発展の為に一層精励する所存であります。

名古屋東南RC45周年

名古屋東南ロータリークラブ会長 玉木 大介

名古屋東南ロータリークラブは今年創立45周年を迎え、3月5日(水)に「創立45周年記念例会」を会員並びに配偶者同席のもと行いました。また、川原弘久ガバナー補佐はじめ親子クラブの名古屋南RC、名古屋瑞穂RC、名古屋名南RCの会長幹事の皆さん、ロータリーファミリーの皆さんもお招き致しました。



45周年の記念事業としては、昨年11月名古屋大学医学部付属病院内に開設された「ドナルド・マクドナルド・ハウスなごや」に寄付を致しました。これにより、同病院から若林俊彦氏と大久保淳氏をお招きし、目録贈呈を致しました。これは、当クラブが以前より積み立てている「グリーン基金」よりこの度「千鳥賞」として東南RC独自の賞と銘打ったもので、社会奉仕に向けて新たに発信、活動することになりました。多くの方々より心温まるお言葉を頂戴し、素晴らしい例会になりました。

この他に昨年9月18日(水)に創立45周年特別「長寿の日」夜間例会を八勝館にてご家族と共に開催致しました。当クラブが45年間に2名のガバナーを輩出するまでに発展、成長できたことは、会員だけではなくご家族の理解・協力があってこそと、その恩恵に敬意を表し実施致しました。

また、私が年度方針でアピールしている「元気で出席」に基づいて、名古屋学芸大学学長の井形昭弘氏による記念講演「夢の長寿社会」をいただきました。とても楽しく和やかな例会になりました。

以上周年の2つの行事はおかげをもちまして、無事終了することができました。関係者様各位に心より感謝を申し上げ、報告と致します。



刈谷RC60周年

刈谷ロータリークラブ幹事 小川 耕示

3月8日に刈谷ロータリークラブは創立60周年を迎えることが出来ました。当クラブは、1954年、名古屋ロータリークラブをスポンサークラブとして石田退三初代会長のもとに発足いたしました。当地区では、第8番目のクラブとしてスタートし、近隣の碧南ロータリークラブ、高浜ロータリークラブ、知立ロータリークラブをスポンサークラブとして立ち上げ、ロータリー活動を地域に広めてまいりました。

60周年を記念して多くの記念事業に取り組んでまいりました。一つは、刈谷市役所の南に位置する旧刈谷市民会館跡地の「刈谷市セントラルパーク」への植樹です。すべて在来種の樹木を植え、将来は「ロータリーの森」として環境保全の一助となることが期待されています。また、東日本大震災支援事業として「石巻ひがし保育園」への支援を行いました。これは、震災で甚大な被害を受けた石巻市で新たに保育園を建設することになり、そこへ園庭遊具の寄付をさせていただきました。さらに、5年間続けてきたタイ・チェンライでの国際奉仕事業「刈谷の森」植林活動を今年度完了することが出来ました。

創立60周年を記念して式典ならびに祝賀会を3月8日に刈谷市産業振興センターにて挙行いたしました。田中正規ガバナーをはじめとしてRI2760地区、西三河分区からは、多くのロータリアンにご臨席賜り、公職の方々も刈谷市長竹中良則様、愛知県知事大村秀章様はじめ多くの御参加をいただき盛大に開催することが出来ました。





米山奨学生歓送会・指導教員感謝の集い

地区米山奨学委員長 伊藤 敦夫

2013-2014 年度米山奨学生歓送会・指導教員感謝の集いを3月8日(土)ナゴヤキャッスルプラザにて開催、地区より川原ガバナー補佐、榊原地区幹事、杉浦地区副幹事と財団法人ロータリー米山記念奨学会理事福田清成様をお迎えし、大学の先生方、各クラブより会長、幹事、米山委員長、カウンセラー、奨学生合わせて114名の参加を頂きました。

米山の歓送会つまり卒業式です。今年度卒業する奨学生は13か国出身の29名が無事奨学期間を終了いたしました。奨学生へは終了証授与、またカウンセラーへは感謝状贈呈をおこないました。この後懇親会に入り奨学生はカウンセラーや指導教員と共に将来の抱負やロータリーへの感謝の気持ちなどの1分間スピーチを行いました。奨学生の皆さんが世界と日本、母国との懸け橋としての活躍を期待します。





「ベトナム・キンチャウ村幼稚園改築引き渡し式」

第2760地区国際奉仕委員会 岡部 秀



新園舎前でガバナーを囲んで記念写真

3月5日、当年度の地区国際奉仕プロジェクト、ベトナムのクアンビン省ティエンフォア市・キンチャウ村幼稚園の改築引き渡し式が行われました。今回は田中正規ガバナー、佐藤委員長ら計6人が参加。キンチャウ村はベトナム南部の大都市ホーチミンから飛行機と車を取りつぎ約4時間のところにある山間の村。

この幼稚園は1970年代に建てられたため老朽化が進んで閉鎖され、この1年間80人の園児たちは隣村の幼稚園に身を寄せ窮屈な思いをしていました。式にはティエンフォア市のデー市長も出席。「この地域は洪水がよくあり幼稚園まで浸水することもあります。改築をしていただき大変感謝いたします」と挨拶し拍手がわきました。これに応え田中ガバナーは、「この日を大変楽しみにしていました。世界平和のためにロータリーは100年以上の歴史があります。今、小さな子供たちが輝いているのを見て、支援が活かされ、この地がますます発展するのが楽しみです。今後も日本とベトナムの架け橋になれるよう努力したい」と挨拶、さらに大きな拍手がわきおこりました。

また、これに先だち空港のあるドンホイ市の貧しいお年寄り70人に20kgずつ合計1.4トンのお米をプレゼント。日越の架け橋として今年度地区テーマ「磨いて輝こう」の精神を实践できた意義深い旅でした。



園児たちに日本のお菓子をプレゼント



お米をプレゼントされたお年寄り



ドンホイの高齢者福祉の会のメンバーたちと





広報委員長会議 [第2回クラブ委員長会議 2014年3月3日]

地区広報委員会 委員長 尾本 和弘



尾本和弘広報委員長

今回の会議では次年度クラブ広報委員長・次期幹事にお集まりを頂きました。実は昨年行われました「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」が次年度の地区事業として行われます。次年度の9月の第1回は広報委員長会議で「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」説明・会議では出遅れてしまいますので、本日、お集まりを頂きました。皆様ご協力の程、宜しくお願いします。



田中正規ガバナー

地区方針は ①会員の意識向上 ②クラブのパワーアップ ③地区の改革 ④会員増強です。現在、会員増強は微増です。地区のキャッチフレーズ「磨いて輝こう」です。覚えておられますか。また、全国ガバナー会で「ロータリーの公共イメージ向上」で2月23日「ロータリー創立の日」を記念して全国一斉に広報します。当地区では2月21日に「中部経済新聞」ページ一面に広告を出しました。また、名古屋駅西口のビジョンに1時間に2回、30秒の放送がされています。ロータリーは隠匿の功といわれますが、これからは「ロータリーの公共イメージ向上」をしなければなりません。また「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」を日本のロータリーデーにしないかとRI会長から言われております。次年度近藤ガバナーに宿題を与えました。「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」が日本のロータリーデーになるよう皆様のご協力をお願いします。



宮崎 薫
「ロータリーの友」
地区代表委員

『ロータリーの友』は現在96,000部発行されています。ロータリアンの皆様は全員読んでおられると思います。内容は年々良くなっていると思います。読書率を上げるには当地区の投稿を多くして頂くと読んで頂けると思います。ポイントは活動をされてから1ヶ月以内に出してください。写真は「集合写」はだめです、対象になる方が「生き生きと活動」をしている写真、文章が5W1Hで短く判りやすいポイントを押さえられた文章で投稿ください。『ロータリーの友』も電子版がありますのでご活用ください。



福田哲三
WFF 実行委員長
池森由幸
広報副委員長

池森由幸広報副委員長より広報のプレゼンテーション

当地区もRI公共イメージに従い広報活動をしていきます。

地区内ロータリアンからの要望が多い ①メーキャップ情報、②他クラブで予定されている卓話情報も掲載を進めています。地区内各クラブから、毎週ウィークリーを送って頂き、体外的な公益活動情報を収集し、その内容を抜粋して ①第2760地区HPに記事を転載し、②並行してFacebook、Twitterで情報を発信し ③地区内マスコミにも配信する。また、福田哲三WFF実行委員長よりロータリーチャリティーイベント「ワールドフード+ふれ愛フェスタ」結果報告、Fundraising（活動資金の調達）のイベント+ロータリー活動の広場。RI公共イメージ補助金事業として日本で初めての開催をしました経緯を説明し、また 県内テレビ、ラジオ、新聞社などへの放送依頼などの広報活動方法を報告しました。



広報委員長会議報告 ②



近藤雄亮
ガバナーエレクト

広報は重要な委員会と考えております。次年度のクラブ広報担当委員長の皆様には来年度一年宜しく申し上げます。1月に国際協議会へ行ってきました。

2014-15 年度国際ロータリー会長：ゲイリー C.K. ホアン

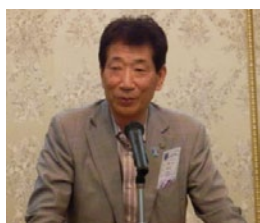
国際ロータリーのテーマ：「ロータリーに輝きを」

強調事項：①地域社会でロータリーの存在感を高めること ②会員増強 ③クラブ強化
④ロータリーデーの実施

地区方針：集まろう・語ろう・楽しもう

地区行動指針：①行事への積極的参加 ②多様性の再認識 ③奉仕の理想と実践
④会員増強

田中ガバナーより RI 北理事から電話が入り当地区の WFF 「ワールドフード + ふれ愛フェスタ」を期待しています。他地区のガバナーを当地区に呼んで盛り上げなさいといわれております。次年度ゲイリー C.K. ホアン会長も時間調整が出来れば自ら出席をしても良い、調整が出来なければ RI 会長代理を出席させると言っています。ロータリーデーに RI でも日本でも注目の的になっています。



高須洋志
次期地区幹事

次年度は広報委員会から IT 委員会が抜け単独委員会に成ります。広報委員会には RI の広報イメージに従い広報活動をお願いします。また前期は籠橋委員長を中心に WFF に専念をして頂きます。また IT 委員会には RI のホームページが変更になりました。当地区のホームページ改修作業をして頂きます。皆さんはご存知と思いますが、クラブセントラルの登録 100%を目指しています。まだ登録が済まされていないクラブは IT 委員会より出向き指導をしたいと思っております。「ワールドフード + ふれ愛フェスタ」の冠を使うかまだ決めかねていますが、公共的にアナウンスしてもらうには「ロータリー行事」として使うのがひとつ団体として前面にできるのも難しいと思っております。11月1・2・3日は当地区のロータリーデーの位置付けでお願いします。



籠橋美久
次期広報委員長

第1回「ワールドフード + ふれ愛フェスタ」は一般市民にロータリーを知らしめることができたと思っております。第1回は名古屋和合 RC が中心で進めていただきました。第2回は公共イメージに従い一般市民に認知度を高めるように行います。また WFF の委員会組織を地区委員会の協力のもと進めていきます。地区クラブの皆様のご協力がなければ先に進みません、皆様のご協力をお願いします。収益金に関しては第1回同様に「カンボジアへの水供給に支援」を行います。

次々年度は東三河分区、尾張分区の何処かでの開催を考えております。



尾本和弘
次期 IT 委員長

現在の地区ホームページは大澤年度より毎年改修をしながら現在に至っています。RI のホームページは RI の公共イメージに従い、新しくなりました。

当地区も次年度、IT 委員会を中心に地区ホームページを改修して新しくします。

- ①デザイン的にはトップページの簡素化をします。
- ②パソコン、タブレット、スマートホンからの閲覧が簡単に出来る取り組みをします。
- ③特にスマートホンからの閲覧表示がパソコンの縮小版のため、見出しが小さく操作がわるいので見出しを大きくします。
- ④今年度リニューアルした「2760 文庫」のとりまとめをします。83 クラブの簡単な紹介ページの作成をしたいと考えています。



14-15年度 地区チーム研修セミナー報告

次期地区副幹事 岡村 達人

- 日 時：2014年3月9日（日）
- 場 所：ヒルトン名古屋
- 参加者：67名
- セミナー主旨：次年度のR Iテーマ・地区方針・ガバナー方針を
地区の22委員会代表に展開するセミナー



田中ガバナー挨拶には始まり、40分にわたる近藤ガバナーエレクトの講話・松前次期研修リーダー挨拶と1時間のセミナーが行われました。

次に、ガバナーエレクト事務所より地区組織、委員会日程、地区研修・協議会、予算、地区大会等々について、報告・連絡が行われました。詳しくは、4月13日の地区研修・協議会で各クラブに3冊ずつ配布します「地区便覧」をご参照ください。

その後、懇親会が開催され、8名のガバナー補佐の紹介等が行われ、ガバナーエレクト、各委員会代表、次期ガバナー補佐、ガバナーエレクト事務所の地区副幹事・地区スタッフと様々な意見交換をしました。集合写真を撮影し、終了しました。



318号

文庫通信

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2丁目6番15号 黒龍芝公園ビル3階
TEL 03-3433-6456 FAX 03-3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp/>
開館=午前10時～午後5時 休館=土・日・祝祭日

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。

ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万3千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。以下資料のご紹介を致します。

最近の資料から

- ◎「魅力的なクラブ創り」 北清治 2013 9p (D.2780 地区大会報告書)
- ◎『「ロータリーに魅せられて」ロータリーは新会員とともに』坂本俊雄 2014 10p (D.2710 地区大会特集号)
- ◎「変わりつつあるロータリー」江崎柳節 2013 7p (D.2800 地区大会記念誌)
- ◎『「ロータリーの目的」とR I戦略計画』南園義一 2013 8p (D.2700 地区大会の記録)
- ◎「国際ロータリーの動向とロータリー財団」三木明 2013 5p (第35回青少年指導者育成セミナー報告書)
- ◎「過去を内省し、新しきものを統合していこう—ロータリー創立100周年後の歩みで感じたこと」黒田正宏 2013 51p
- ◎「ポリオが地球から消える日『世界の子どもたちとの約束を果たそう!』」北山輝夫 2013 2p (D.2830 地区大会記録誌)
- ◎「ポリオとの戦い—根絶間近のインドから」ロケシュ・グプタ 2013 5p (D.2830 地区大会記録誌)
- ◎「トルコの識字プロジェクト支援/ロータリーへの目覚め」重田政信/清章司 D.2840 2013 1p (私のロータリーモメント)

[上記申込先：ロータリー文庫]



14～15年度 会長エレクト研修セミナー (PETS) 報告

次期地区副幹事 岡村 達人

- 日 時：2014年3月15日（土）
- 場 所：ウェスティンナゴヤキャッスル
- 参加者：122名
- セミナー主旨：次年度のRIテーマ・地区方針・ガバナー方針を83RCの会長へ展開するセミナー

例年との変化点

- ①各RC会長・幹事2名参加から会長のみにになりました。
- ②点鐘に始まる例会方式をやめ、シンプルな式次第となりました。
- ③登録費1万円から8,000円と負担軽減しました。



式次第は、先週開催された“地区チーム研修セミナー”と同じ進行でした。
 近藤ガバナーエレクト講話のキーワードは、
 “LIGHT UP ROTARY” “集まろう・語ろう・楽しもう”
 “ポリオ撲滅宣言” “WFF・ロータリー・デー” “RI戦略計画”
 “地区審議会・立法案審議委員会” “ベスト・クラス”
 “ガバナー公式訪問・全83RC単独訪問”等々です。

これらは、4月13日の地区研修・協議会で各クラブに3冊ずつ配布します「地区便覧」に載っておりますので、是非、一度ご覧ください。

午後からは、8分区に分かれて、次期ガバナー補佐による、分区グループ懇談会が行われ、後半の本会議で、その内容と分区の計画やIM等について、全ガバナー補佐から発表がありました。

83人の次年度会長の皆様は、ガバナーエレクト・次期ガバナー補佐の“熱い思い”を自クラブに展開し、“LIGHT UP ROTARY”の実現に向け、真剣なまなざしで傾聴していました。

なお、4月13日(日)には地区研修・協議会が尾張旭ロータリークラブのホストにより開催されます。いよいよ近藤ガバナー年度のスタートラインが見えてきました。



西名古屋分区

ガバナー補佐 川原 弘久



2013～14年度西名古屋分区インターシティミーティングを、2014年2月20日（木）、ウェスティンナゴヤキャッスルにて開催致しました。

ホストを務める名古屋丸の内ロータリークラブは会員数の少ないクラブですので、滞りなく実行できるか不安な面もありましたが、600余名の登録を戴き無事に終了できましたのも皆様のご協力のお蔭と感謝しております。

このI.M.では、グローバル化の時代に当地方の歴史と文化をもう一度掘り起こしてみたいと考え、テーマに「地元の文化を見直そう！」と掲げ、講演を高野山真言宗・別格本山八事山興正寺の梅村正昭氏にお願い致しました。300年を超える歴史と寺宝のご紹介、未来に向けての指針など有意義なお話を伺うことが出来ました。

また、講演のほかに、長瀬輝代之地区社会奉仕委員長のご臨席を賜り、名古屋市内25RC社会奉仕委員会の支援活動についてのご紹介と、すでに各事業の支援贈呈式は済んでいますが改めて今年度の支援7事業の発表をしていただきました。名古屋丸の内ロータリークラブの社会奉仕事業も支援を戴くことが出来ましたので、支援先である愛知県立名古屋聾学校校長 上田 裕様と生徒会長、副会長をご招待して目録の贈呈式を披露させていただきました。この市内25RCの社会奉仕支援活動はロータリアンとして誇れる事業であり、ここでご紹介できたことを大変嬉しく思います。

懇親会は近藤雄亮ガバナーエレクトの乾杯ご発声に始まり、ラテンシンガーの伊奈木紫乃さんの歌を楽しみ、各クラブとの垣根を越えた友好、会員皆様方の親睦が一層深まったのではないかと思います。

ご出席下さいました特別出席者の皆様、西名古屋分区各クラブの会員の皆様に心より感謝の意を表して、I.M.の報告とさせていただきます。



名古屋聾学校への目録贈呈



近藤ガバナーエレクトによる乾杯ご発声

西尾張分区

西尾張分区ガバナー補佐 小島 三男

西尾張分区 IM は去る 2 月 22 日、一宮中央ロータリークラブのホストにて開催いたしました。奇しくも今から 109 年前の 1905 年 2 月 23 日の晩、P・ハリス他 3 名で世界最初となるロータリークラブ第一回会合が開催されたロータリー誕生日の前夜に西尾張分区の会合が実施されたもので、ロータリーバースデイ・イブに仲間が集い、研修と会員相互の親交を深めたひと時となりました。当日は特別出席者として西尾張分区より輩出のバスターガバナーお三方をはじめ、分区を引率いただいたバスター代理、ガバナー補佐各位の出席を願い、更には一宮ロータリークラブ他 8 クラブ全員の登録を頂き、厳粛なる雰囲気の中、IM 第一部開会のゴングが鳴り響きました。今回の IM は、田中ガバナーの地区方針である“磨いて輝こう”に則り『ロータリーへの想い』とサブタイトルをつけ、“入会前と今、そして未来”と題して、入会后 3 年未満の会員を各クラブより推薦いただき、それぞれの会員よりそれぞれのお立場からロータリークラブへの想いを発表していただきました。この発表については事前に次のような質問事項を見ていただいております、それに沿ってお話し頂く形式と致しました。①入会前にロータリークラブを知っていましたか？ ②ロータリークラブをどこで知られましたか？また、どのような活動をしていると思っていましたか？ ③紹介者はロータリークラブをどのように案内（説明）してくれましたか？ ④入会してみてどのように思われましたか？また嘘はなかったですか？ ⑤会員として今後の希望や活動についてその想いをお話ください。⑥会員を増やすために効果的な方法の知恵を貸してください。この 6 個の質問についてお話いただきました。発表者一人当たり約 7 分の持ち時間で 9 人の方々より素晴らしいお話しがありました。いずれの方々からもロータリーに対して真摯な見方をされていることが聞き取られ、私共、長く在籍する会員にとって反省すべき多くのご意見を聞くことができました。これほどまでにロータリーを深く想い、その存在の意義を重く感じられている言葉を聴き、何となく在籍している私共に猛省を求められるメッセージを聴き、思わず胸が熱くなったのは私一人だけではなかった筈です。お一人 7 分程度と本当に短い持ち時間にも拘らず、極めて分りやすく要点を纏めてお話し頂き、さすがロータリアンと感心しきりでございました。さて、お楽しみの第二部懇親会は、三浦地区副幹事さまの乾杯で開会いたしました。今回のアトラクションには、アンサンブル・リベルタという演奏者を招き、懇親会の雰囲気を盛り上げていただきました。この演奏は 5 人からなる演奏者が箏・尺八・シンセサイザー・ベース・フルート・サクソフーンを用いて邦楽・洋楽・そして日本の流行歌・はたまた懐かしい唱歌までも演奏されるもので、和洋楽器が奏でる巧みなハーモニーを楽しんで頂けたものと思っています。

今回の IM は、分区全クラブ様のご協力のお陰で素晴らしい研修会が開催できました。各クラブ会長・幹事様には素晴らしい発表者を推薦頂き、感銘深い IM となりました。末筆となりましたが、発表頂きました会員の方々には心より厚く御礼申し上げて、西尾張分区 IM の報告と致します。



小島ガバナー補佐と発表者の方々

東名古屋分区

東名古屋分区 分区幹事 長谷川 周義

東名古屋分区 I.M. が 2 月 26 日 (水) に開催されました。同分区ガバナー補佐三浦俊彦が、『R.I. 会長田中作次さんをお招きし、直接その人柄やロータリーに対するお考えに接すれば、ロータリアンとして意義あることではないか』と発案、ホストクラブ名古屋錦 R.C. 全員がその思いを共有し I.M. の準備が始まりました。連絡の困難さに一度はあきらめたものの、広島での世界平和フォーラムで田中さんに直接お目にかかり、幸いにも快諾いただきました。その後八潮クラブを訪し田中さんと懇談、『講演より、皆さんとロータリーについて語り合しましょう、又、若い人とも夢について語り合いたい』との希望を伺い、実行委員はわが意を得たりと I.M. テーマを『Enjoy Rotary 語り合おう!! 田中作次さん (RI 直前会長) と・・・』と決めました。



オープニング：
名古屋コール・ロータリー



当日の第 1 部<式典と講演>には分区内外の約 620 名が参加されました。田中さんの講演『Enjoy Rotary』については、三浦補佐がガバナー月信 6 月号に記事を掲載予定です。講演後、田中さんへ 6 名の方から質問が出ました。① R.C. の平和活動：ロータリーは対立に対して中立であり、世界に 3 万 4 千ものクラブ (拠点) がある最も平和活動にふさわしい団体である② R.I. 会長として、良かった点と困った点は：困ったことは無く、世界で様々な人と会い話をし元気をもら

う楽しい毎日でした。③ロータリアンの世代格差をどう克服すべきか：若い人は企画力と行動力があり、年長者は経験に基づく指導力がある。双方が力を合わせればうまくいくと思います。若い人が入り難い原因(会費が高い・昼間会合へ出席出来ない等)を解消する努力が必要である。④アイリスクラブが田中作次会長の一番最後の R.I. 認証クラブ?：その通りです。⑤日本の R.C. の長所・欠点：日本は他に比べて奉仕活動への参加が少ないと思います。しかし、日本という国も国民も大変信頼されています。私が R.I. 会長の職務を果たせたのはその様な信頼関係だと思えます。

その後は休憩を挟み、『ロータリーファミリー、夢を語る』でした。桜花学園 IAC 伊永さん<保育士に>・同クラブ高橋さん<母と同じ笑顔の絶えない看護師に>名城 RAC 水野さん<私の獲得したい資質「適切に愛する」>副会長谷口さん<アクターから若いロータリアンへの道筋>米山奨学生王さん<中国で経済・経営が判る日本語教師>同デパコタさん<出身地ネパールの子供達の幸福>最後に朴さんが<研究活動の一つ一つ着実に進めていく事>を語りました。これを受けて田中さんは、それぞれの方に夢を持ち続けて頑張ってくださいと激励されました。

第 2 部<懇親会>には、千田 P.G. が、リスボン世界大会でのガバナーナイト参加者に、『田中さんにお礼と再会を』と呼びかけられ、それに応じた特別参加者 49 名も参加され、華やかで、心温まる会となりました。



ロータリーファミリー、夢を語る



平成25年度名古屋大学卒業・修了留学生を送る夕べ

平成26年3月10日(月) 地区幹事 榊原 勝俊



名古屋大学の留学生卒業・修了を送る会に参加させて頂きました。

大学の食堂で行われた“送る夕べ”はシンプルでウーロン茶の乾杯で始まりました。

濱口道成総長は挨拶の中で現在86カ国から1,791名が在籍し、全学生の1割を超える留学生がおり当面2,000名を目標にしている留学生には日本と母国との架け橋となつてほしいと願っておられました。

来賓挨拶で田中ガバナーは「RI2760地区にも米山記念奨学制度があり毎年30名程の学生に奨学金を送り、ロータリアンのカウンセラーをつけて支援しています。皆さんもロータリー米山記念奨学生に挑戦してください。」とお話しされました。

13名の代表者に総長より記念品が贈呈され、3名の代表者がお礼の言葉を2人は日本語で1人は英語でスピーチされました。

最後はフランス留学の経験ある学部長が日本の良い所、悪い所も紹介され日本人の常識と外国との考え方の違いを話され会を閉じました。

ロータリーもこのような機会には米山記念奨学委員長も積極的に参加してロータリーをPRすべきだと反省しています。





広報
委員会の

よもやま話

No.21

[第2760地区広報委員会]

委員長:尾本 和弘(名古屋東南) 副委員長:佐久間 武美(雑誌)(豊橋北) 池森 由幸(Web)(名古屋千種) 田中 粹人(管理)(豊川)
委員:岡田 邦義(岡崎) 堀尾 明史(尾張中央) 堀田 力男(津島) 松崎 美都子(名古屋守山) 城野 八代江(名古屋名駅)
志水 ひろみ(春日井) 坂野 弘(岡崎東) 糸井 学(名古屋みなと) 杉浦 令淑(名古屋大須) 平野 好道(名古屋瑞穂)

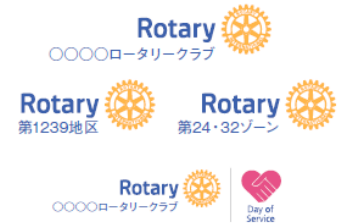
国際ロータリーの戦略計画には優先項目が3つあります。「クラブサポートの強化」「人道的奉仕の重点化」、そして「公共イメージと認知度の向上」です。「公共イメージと認知度の向上」とは、ロータリーについて知っていただき、そして良いイメージを持っていただくということです。その具体的な目標として「イメージとブランド認知を調和させる」「行動を主体とした奉仕を推進する」「中核となる価値観を強調する」「職業奉仕を強調する」「クラブにおけるネットワークづくりの機会ならびにクラブ独自の主な行動について周知を図るように奨励する」の5つが掲げられています。

「公共イメージと認知度の向上」で、ロータリーマークのイメージとブランドの色彩が変わった事にお気付きではないでしょうか？



クラブ名、地区番号、ゾーン番号、プロジェクト名入りのロゴ

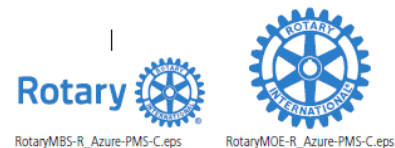
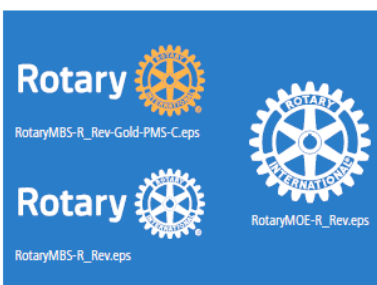
色



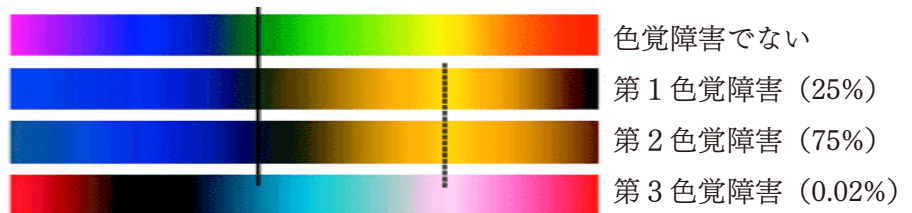
ロゴ

ロゴ

誇りのシンボル



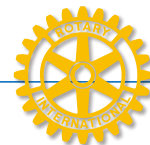
これらは視覚障害（色覚障害・色盲）の方たちにも配慮した色彩を採用するとこれらの色使いになります。



上記の図で比較をしながら色を見比べるとロータリーのイメージカラー、アズール・ロイヤルブルー・ゴールドが色覚障害者に見やすい色となります。

今までのロータリーマーク（襟ピンなど）はシンボルマークですから従来通りです。これらは「公共イメージと認知度の向上」で外に向けた広報イメージです。会員に対する雑誌「ロータリーの友」の表紙・裏表紙はロータリーのシンボルマークは変更無く発刊されています。

最後に、明確なロータリーのスタイルを保つことは、ロータリーの存在感を高め、力強いイメージを築く上で極めて重要です。Webより「My Rotary」「ブランドリソースセンター」からダウンロードできる資料やガイドラインは、クラブと地区が、組織として一貫したアイデンティティを保ちながらも、クラブと地区による独自の資料づくりやコミュニケーション発信を可能とするものです。



「千人太鼓」でつなぐ

— 西尾市制60周年記念事業 —



山田プロデューサー（中央）の合図で始まった千人太鼓

西尾市制60周年記念「西尾『千人太鼓』～歴史をつなぎ・人をつなぎ・心をつなぐ～」(三河新報社など後援)が16日、西尾市総合体育館で開かれ、観客約1500人が壮大な和太鼓の響きに包まれた。

西尾市民で、兵庫県の「和太鼓松村組」に所属する山田純平さんが総合プロデューサーを務め、一年ほど前から愛知県内をはじめ全国各地の和太鼓団体に出演を呼び掛けて実現した。山田さんはこの間、各地の団体へ出向いて直接指導。さらに西尾市では、一般公募で集まった園児から70歳代までの幅広い年齢層の約250人に対して、バチの持ち方といった基礎練習から始めて本番を目指した。

この日、第1部は松村組などプロ5団体によるスペシャルライブ。市民らが参加した第2部では、太鼓の寄贈など交流を続けている被災地、宮城県亶理町の「道岳館倭多里道の会」や尾張、名古屋、知多、西三河地区の約50団体計1000人が公演のメインテーマ曲「TSUNAGU」を演奏。1000人の打ち手が腕を大きく振りかざし、手にしたバチを太鼓に向かって力強く打ち込むと会場中が大きく揺れた。観客たちは「感動で涙が出た」「これだけの人数なのにリズムがあっていた。相当な練習をしたんだと思う」と話していた。

山田さんは「市制イベントですが、70社近くの西尾の企業に協賛していただき、市民の力でこの舞台が出来上がった。今、すべてが形になって報われて達成感でいっぱいです」と話し「私が西尾の市民になったことから、西尾を元気な太鼓のまちとして全国に知らしめたい。きょうがその第一歩です」と力強く語った。

(三河新報 2014.3.18より)



和太鼓の力強い音を響かせた演奏者たち



会員数及び出席報告 (平成26年2月末)

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	2月 出席率
		2013年 7月1日	2013年 7/1女性	2014年 2月末日		2月	累計	2月	累計		
南尾張分区	半田	61	3	64	4	0	5	0	2	4	100.00%
	常滑	40	0	39	0	0	1	0	2	4	94.83%
	東海	47	1	53	2	0	6	0	0	4	95.75%
	東知多	20	1	20	1	0	0	0	0	4	83.77%
	半田南	37	1	41	1	0	4	0	0	3	94.02%
	知多	28	2	28	3	0	1	0	1	4	91.60%
	大府	18	1	17	0	0	0	1	1	4	76.79%
	7RC	251	9	262	11	0	17	1	6		90.97%
	西尾張分区	一宮	86	1	90	1	0	6	0	2	4
津島		67	4	68	4	0	3	0	2	4	98.01%
尾西		21	1	21	1	0	0	0	0	4	98.81%
一宮北		40	2	39	2	0	0	0	1	4	96.39%
稲沢		56	0	55	0	0	2	0	3	4	92.85%
あま		79	2	80	2	2	3	0	2	3	100.00%
名古屋清須		27	0	28	1	0	3	0	2	3	97.44%
尾張中央		33	0	32	0	0	0	0	1	3	94.75%
一宮中央		42	7	44	7	0	2	0	0	4	95.45%
9RC	451	17	457	18	2	19	0	13		96.82%	
東尾張分区	瀬戸	62	5	64	6	0	3	0	1	4	98.35%
	犬山	59	1	62	1	1	4	0	1	3	100.00%
	江南	48	1	50	1	0	3	0	1	4	94.13%
	小牧	25	1	26	0	0	4	0	3	4	91.88%
	春日井	51	2	58	2	0	8	0	1	4	99.56%
	尾張旭	25	1	26	1	0	2	1	1	4	96.19%
	名古屋空港	53	1	56	1	0	3	0	0	4	100.00%
	瀬戸北	70	8	67	7	0	0	0	3	3	100.00%
	岩倉	16	1	16	1	0	0	0	0	3	93.75%
	名古屋城北	31	4	31	4	0	2	0	2	3	95.11%
	愛知長久手	20	5	20	5	0	1	0	1	3	96.67%
11RC	460	30	476	29	1	30	1	14		96.88%	
西名古屋分区	名古屋	185	0	187	0	0	7	0	5	3	89.12%
	名古屋西	92	0	99	0	0	8	1	1	4	93.02%
	名古屋南	117	0	121	0	1	5	0	1	3	95.81%
	名古屋みなと	68	0	71	0	1	3	0	0	4	100.00%
	名古屋東南	81	7	87	6	1	10	0	4	4	81.45%
	名古屋中	133	0	131	0	0	5	0	7	4	97.85%
	名古屋瑞穂	64	0	62	0	0	1	0	3	4	98.57%
	名古屋大須	62	7	61	6	0	2	0	3	4	94.31%
	名古屋栄	78	0	82	0	0	6	0	2	4	95.02%
	名古屋名南	55	7	56	8	1	2	0	1	3	94.54%
	名古屋名駅	80	6	87	8	1	10	0	3	4	97.86%
	名古屋丸の内	41	4	45	6	0	6	1	2	4	95.21%
	中部名古屋みらい	24	7	24	7	0	0	0	0	4	45.83%
	13RC	1,080	38	1,113	41	5	65	2	32		90.66%

	クラブ名	会員数	会員数	会員数	当月 女性	入会		退会		例 会 数	2月 出席率	
		2013年 7月1日	2013年 7/1女性	2014年 2月末日		2月	累計	2月	累計			
東名古屋分区	名古屋北	91	0	93	0	0	4	0	2	4	97.96%	
	名古屋東	83	0	87	0	0	4	0	0	4	92.49%	
	名古屋守山	49	2	47	2	0	1	0	3	4	98.57%	
	名古屋和合	103	0	106	0	0	5	0	2	4	84.96%	
	名古屋名東	61	8	62	8	0	2	0	1	3	95.03%	
	名古屋名北	37	4	38	4	0	1	0	0	4	97.73%	
	名古屋千種	36	2	41	3	1	6	0	1	3	100.00%	
	名古屋昭和	51	1	52	2	0	5	0	4	4	96.81%	
	名古屋錦	33	10	32	10	0	0	0	1	3	89.89%	
	名古屋東山	33	4	33	4	0	2	0	2	4	93.94%	
	名古屋葵	20	0	20	0	0	1	0	1	4	66.25%	
	名古屋アリス	33	12	32	13	0	1	0	2	4	80.47%	
	12RC	630	43	643	46	1	32	0	19		91.18%	
	東三河分区	豊橋	118	3	119	3	0	2	0	1	4	92.49%
		蒲郡	57	0	60	0	0	3	0	0	4	91.37%
豊橋北		77	4	75	4	0	2	0	4	3	93.77%	
豊川		71	1	71	1	0	1	0	1	4	97.26%	
田原		45	1	46	1	0	3	0	2	4	94.64%	
豊橋南		58	0	57	0	1	2	0	3	4	93.31%	
新城		44	1	44	1	0	0	0	0	4	84.39%	
渥美		32	0	33	0	0	1	0	0	4	84.12%	
奥三河		15	3	15	3	0	0	0	0	4	91.07%	
豊川宝飯		57	3	55	2	1	1	0	3	3	98.58%	
豊橋ゴールデン		63	1	65	2	0	3	0	1	4	94.38%	
田原パンフィック		49	2	49	2	0	1	0	1	3	85.60%	
豊橋東		43	0	42	0	1	1	0	2	4	89.53%	
13RC		729	19	731	19	3	20	0	18		91.58%	
西三河中分区		岡崎	81	3	83	3	0	4	0	2	4	100.00%
	豊田	85	0	92	0	0	7	0	0	4	99.43%	
	岡崎南	95	2	93	2	2	5	1	7	3	99.23%	
	豊田西	96	1	94	1	2	4	2	6	4	97.34%	
	岡崎東	60	0	62	1	0	5	0	3	4	96.57%	
	豊田東	73	0	76	0	0	4	0	1	4	96.83%	
	岡崎城南	72	0	77	0	2	5	0	0	3	95.17%	
	豊田三好	21	0	20	0	0	0	0	1	4	88.55%	
豊田中	42	6	42	6	0	1	1	1	4	98.17%		
9RC	625	12	639	13	6	35	4	21		96.81%		
西三河分区	刈谷	95	4	96	4	0	3	0	2	4	100.00%	
	安城	58	4	60	4	0	2	0	0	4	92.12%	
	西尾	75	2	75	2	0	0	0	0	3	100.00%	
	碧南	63	3	69	3	2	7	0	1	4	89.45%	
	西尾一色	29	0	27	0	1	2	1	4	4	100.00%	
	高浜	34	2	34	2	0	0	0	0	2	100.00%	
	知立	61	0	63	0	1	4	0	2	4	100.00%	
	西尾KIRARA	58	1	58	1	0	1	0	1	4	100.00%	
	三河安城	63	6	63	6	0	1	0	1	4	96.72%	
	9RC	536	22	545	22	4	20	1	11		97.59%	

	クラブ	平均
平均出席率	83	94.06%

地区内クラブ数 83RC	2013年7月1日会員数	4,762名	内女性 190名	増加会員数(累計)	238名
	2月末会員数	4,866名	内女性 199名	減少会員数(累計)	134名
	当月平均出席率	94.06%		差引純増会員数(累計)	104名

2月	入会	退会	純増
	22名	9名	13名